

利用する方々のライフステージに合わせた

生活から就労、相談や支援者の養成まで幅広く取組み、自閉症の方の暮らしを応援します。



昼夜一体のサービスを施設入所支援、共同生活援助事業等で提供しています。
自閉症の人たちにとって、「食事・睡眠・排泄／日中活動」は生活の軸であり、心理的な面に大きく影響します。そこをしっかりと応援していきたいと考えています。



自閉症の人たちの安定した生活に張り合いのある日中活動は欠かせません。
個々の能力を発揮しやすい作業環境と関係づくりを工夫し、「毎日通うことが楽しい」「皆と会えて、仕事ができる」。その為の環境を提供しています。



発達障害のある人の困っていること等の相談に応じえています。
クローバーでは、特に市町の相談支援機関と連携の元、進めていきます。また、あいあむの計画相談では、ニーズに対し「本人中心支援」の視点から、ケアマネジメントの手法を用いて一緒に奔走していきたいと考えています。



短期入所事業では、地域生活が困難になられた方の“リハビリ的ショートステイ”での取り組みを長年積み重ねてきました。
その他、地域移行を目的とした“有期限通所”等。2019年度、県より兵庫県強度行動障害地域生活支援事業を受託しています。

8 つ の サ ポ ー ト が あ り ま す 。



発達障害のある人の個々の特性を見ながら、働き方についての相談を行います。
職業評価等を利用し特性理解を行い、適職と一緒に検討していきます。
必要に応じて、就労支援機関と連携し職場への訪問を行い、職場との調整を行っています。



一人ひとりの状態や特性に応じたプログラムを組み、実践することで本人の持つ力を高めていくことや、行動障害等における生きづらさの軽減を図ってけるよう支援していきます。



地域での各種イベントや、研修会の開催や講師派遣、を通して「障害の理解」等について啓発を行っています。
誰もが過ごしやすい街を目指して地域づくりの一翼を担って活動しています。



発達障害支援を行う支援者に対して、支援に必要な知識、技術等を学んでもらえるための研修会の開催、講師派遣等を行っています。
また、家族支援プログラムである家庭療育支援講座の普及もを行っています。

社会福祉法人あかりの家

自閉症総合援助センター

「自閉症総合援助センター」は、全日本自閉症支援者協会前会長・元あかりの家理事の奥野あさけ学園前園長が、自閉症の人達への総合的な支援の必要性に基づいて、私達「自閉症者施設」の果たすべき、目指すべき方向として提唱された構想です。

自閉症の人たちへの支援には「生涯援助」の視点が欠かせません。「自閉症総合援助センター」は、各ライフステージに沿って、あるいはその時々状態や状況に応じて、高度な専門性と総合的で多様なニーズに対応するために必要とされる、総合支援体制の構想です。



障害者支援施設
あかりの家



地域支援センター
あいあむ



ひょうご発達障害者
支援センター
クローバー



障害児通所支援事業所
あかりの家



通所・多機能型事業所
ワークホーム高砂



通所・多機能型事業所
納豆工房
なっとこちゃん



グループホーム
オリーブの家



グループホーム
希望山荘日笠



グループホーム
友愛の家

